

製品名: T1R3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18551**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	93kDa

抗原情報

遺伝子名	TAS1R3
別名	TAS1R3; T1R3; TR3; Taste receptor type 1 member 3; Sweet taste receptor T1R3
遺伝子 ID	83756.0
SwissProt ID	Q7RTX0
免疫原	抗血清はヒト TAS1R3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 326-375

背景

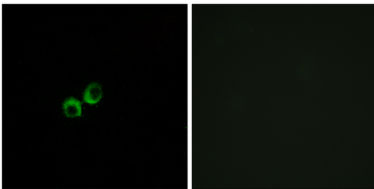
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、味覚反応に関与する G タンパク質共役受容体である。コードされるタンパク質は、TAS1R1 とヘテロ二量体受容体を形成してうま味反応を誘発するか、または TAS1R2 と結合して甘味反応の受容体を形成するこ

とができる。[RefSeq 提供、2015 年 11 月],機能: 推定味覚受容体。TAS1R1/TAS1R3 はうま味刺激 (グルタミン酸ナトリウムの味) に反応する。TAS1R2/TAS1R3 は、多様な天然および合成甘味料を認識する。TAS1R3 は、二糖類トレハロースの認識と反応に必須である (類似性による)。種内および種間の配列の違いは、味覚反応の選択性と特異性に大きく影響する可能性がある。、オンライン情報: 味覚体験 - 2005 年 2 月号 第 55 号,類似性: G タンパク質共役受容体 3 ファミリーに属する。TAS1R サブファミリー。サブユニット:TAS1R1 および TAS1R2 とホモ二量体またはヘテロ二量体を形成する。

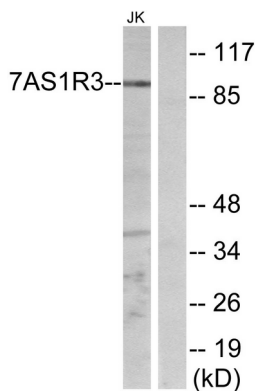
研究分野

味覚伝達;

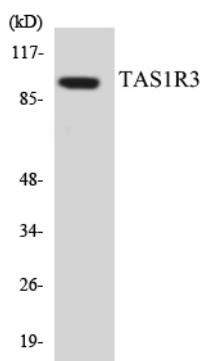
画像データ



TAS1R3 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TAS1R3 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TAS1R3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。